

令和4年2月7日

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

所在地 大分市金池町4丁目9-4
団体名 一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス
代表者氏名 河野 博明
電 話 080-2798-1661

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 児童養護施設などの出身の若者の自立を見守る居場所活動

2. 事業の概要 平成23年4月、大分県の委託事業として社会福祉法人が事業主体となり児童養護施設などの退所児童のアフターケア事業を開始し、大分市内に事業所を設置し相談支援活動を実施してきた。

しかし、平成29年度末で事業主体の社会福祉法人が撤退することとなった。

利用者の支援を継続しなければという強い思いから、事業を担当していた有志で継続の道を模索し、平成30年4月に任意団体「一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス」を設立し、①居場所サロンの運営②相談支援③交流会の開催④各関係機関との連携⑤支援者サロンの実施という5つの運営方針を立て事業を継続している。

3. 事業費 268,000 円

4. 交付申請額 138,500 円

5. 概算交付 概算交付を希望する。
概算交付を希望しない。

※注意 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 活動目標設定書(様式6)
(7) 規約、会則、定款等の写し
(8) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
- (ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) いっしょにあるこうえいばしょさろんわかばはうす 一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス			
事 務 所 の 所 在 地	〒870-0026 大分市金池町4丁目9-4			
	電話	080-2798-1661	FAX なし	
代表者氏名	(ふりがな) こうの ひろあき 河野 博明	団体構 成員数	28 人	
連絡責任者 ※この申請について 問い合わせをした ときに対応できる 方	(氏名)	携帯		
	(住所)	FAX		
	(電話)	E-mail		
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	1	その他の 分野 2、10、13	
設立年月日	平成30年4月12日	会報等の発行	有 (年 回発行) ・ (無)	
ホームページ	https://www.facebook.com/wakabahouse.aftercare/	E-mail		
主な活動地域	jidou8899@yahoo.co.jp			
団体の活動目的 ※団体の活動目的を簡潔明瞭に記入してください。	現行の児童福祉法では、児童養護施設などで暮らしている子どもたちは、高校を終えると直ぐに、親という後ろ盾がないままに社会に巣立っていかねばならない。コロナ禍でこれまで以上に虐待や貧困などと隣り合わせの厳しい生活を送る彼らに、暖かい眼差しを向け見守る職業や性別も様々な幅広い年代(20~70代)のボランティアがいることと、同じような境遇の仲間がいて助け合えることを体感できる居場所づくりをおこなう。			
これまでの 主な活動実績	年度	事業名	実施回数	参加者数
	3	居場所サロン	77回	239名
	3	支援者意見交流会	1回	5名
	2	居場所サロン	80回	289名
	2	支援者意見交流会	3回	18名
			回	名
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助(委託)元	補助事業名	金額
	令和2	大分市	1%応援事業	46,678円
	令和3	大分市	1%応援事業	77,154円
	令和3	独立行政法人福祉医療機構	子どもの未来応援基金	1,000,000円
	(例) 令和3	大分市	1%応援事業	300,000円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
児童養護施設 などの出身の 若者の自立を 見守る居場所 活動	居場所づくり 野外活動 季節行事 スポーツ交流 などを実施	毎週火・ 木と毎月 1回日曜 日	大分市 金池町	300	100	268
小 計					100 (a)	268 (c)

1% 応援
事業補助
対象事業
を記載

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者 の予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
支援者交流事業	意見交換会や勉 強会を開催し、情 報共有を行う	4, 10, 3月	大分市内	20	3	30
小 計					3 (b)	30 (d)

合 計	(a) + (b) 103	(c) + (d) 298
-----	------------------	------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b)	(c) / (c) + (d)
	97% (A)	90% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 × 100 ※小数点以下は四捨五入してください。	94%	

事業計画書

事業の名称	児童養護施設などの出身の若者の自立を見守る居場所活動	
事業内容	主な対象者	児童養護施設などの出身の若者とボランティア
	内容	児童養護施設などで暮らしている子どもたちは、高校を終えると直ぐに、親という後ろ盾がないままに社会に巣立っていかねばならない。虐待や貧困など、これまでの生活で疲弊しパワーレスな状態である彼らは、ひとりでの生活で直面する問題を解決するために、「助けて」という声を上げることに困難が伴う。そんな彼らに、暖かい眼差しを向け見守る職業や性別も様々な幅広い年代(20～70代)のボランティアいることと、同じような境遇の仲間がいて助け合えることを体感できる居場所づくりを行う。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月)	内容 別添の事業スケジュールをご確認ください。
広報計画・方法	※広く市民の参加を呼びかけるための具体的な広報計画等を記載してください。 ・facebook等のSNSでの広報 ・児童福祉施設(児童養護施設、母子生活支援施設など)や里親・ファミリーホームなどの関係機関へチラシを送付	
新規事業、継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 <input checked="" type="checkbox"/> ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか、簡潔明瞭に記入してください。	①コロナ禍を生きる若者たちに、「自分の事をよく知っている人が待っている」という安心感を提供できる居場所づくりを行う。若者が困った時に気軽に相談できる居場所として、孤立やひきこもり状態に陥ることを未然に防ぐ。 ②一般家庭での日々の生活の中で自ずともたらされる知識や経験を身につける機会を奪われた若者に対して、家庭的な空間を利用して様々な体験の機会を提供する。体験を積み重ね成功体験を獲得することで、若者の自己肯定感を上げていく。 ③若者が幅広い年代(20～70代)のボランティアとの関わりの中で大人のロールモデルを獲得する事ができる。大人の行動を知る事で社会生活でのトラブルを回避できる可能性が高まる。 ④ボランティアが他の機関と連携して、若者が目標とする就労や資格取得など、若者ひとりひとりの目標にむかって伴走していく仕組みづくりを行う。	

『社会的養護出身の若者の自立を見守る居場所活動～』事業スケジュール

「一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス」は、大分駅から徒歩 10 分程の住宅街にある民家を空き家バンクより借り受け、新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、児童養護施設等で暮らした経験のある若者を対象とした居場所サロンを運営している。

児童養護施設などの出身の若者は、成長過程において、家族とともに過ごす日常の中で知識や経験を身につけていく機会を奪われ、「家庭の雰囲気や安心感がわからない」と口にすることもある。コロナ禍で孤立した若者とボランティアとの交流の中で、立ち止まり、休み、考えることができる家庭環境に近い居場所を提供し、自立に向けた見守りを継続的に実施する。

令和 4 年度活動予定

4月	お花見
5月	DVD鑑賞会
6月	農作業体験
7月	パン作り体験
8月	ボーリング大会(出身施設の職員との交流会)
9月	おやつ作り体験
10月	農作業体験
11月	オレンジリボンたすきリレー参加
12月	大そうじ・餅つき
1月	初詣・鏡開き
2月	節分
3月	ひな祭り



パン作り体験 (令和 3 年 6 月)



稲刈り体験 (令和 3 年 11 月)

収支予算書

事業の名称： 児童養護施設などの出身の若者の自立を見守る居場所活動

1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	138,500	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	20,000	会費 2000 円×10 人
事業収入	40,000	サロン参加費 200 円×200 名
寄附金収入	50,000	個人寄附 5,000 円×10 名
その他	19,500	自己資金
合計	268,000	

2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	40,000	有償ボランティア 2,000 円×20 人
旅費		
消耗品費	30,000	封筒、文房具、事務用品類、使い捨て容器等の日用品類
燃料費	20,000	レンタカーのガソリン代
食糧費	21,000	支援者の茶菓子代【補助対象外】
印刷製本費	45,000	パンフレット、チラシの印刷代
通信運搬費	24,000	郵便代 (ハガキ、切手等)
広告料		
保険料	14,000	ボランティア保険 500 円×20 人 野外活動用保険 200 円×20 人
手数料・委託費	20,000	野外活動体験料 1,000 円×20 名【補助対象外】
使用料・賃借料	20,000	野外活動用レンタカー代
原材料費	34,000	餅つき・花見開催時の食材費 調理実習食材費
備品購入費		
合計	268,000	【内、補助対象経費：227,000 円】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。